

平成30年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（心理学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	心理学、心理学研究法、統計学の考え方、基本的な用語・概念、心理学の発展に貢献した人物についての知識を問うために「語句問題」を課す。また、それらを応用して人の行動や様々な現象について考える力、基礎的な実験を計画する力、特定の実験方法・データ分析を客観的に評価したり対案を出したりする力、統計学の基礎的知識を応用する力、さらには実際にデータを分析し結果を解釈する力などを問うために「文章問題」を課す。

平成30年度  
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（前期）  
（専門試験） 心理学 全2枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 2枚、解答用紙 6枚を配付する。

解答用紙6枚は以下の通りに使用する。問1から問3については、それぞれ1枚ずつ解答用紙を用いること。問4は8つの用語・人名のうち5つを選択したうえで、1枚の解答用紙を用いること。残り2枚は下書き用とする。

次の問すべてについて解答しなさい。

問1 「連続ドラマに使われた歌はヒットしやすい。」という記述は正しいと言えるだろうか。認知心理学の理論や現象に言及しながら、自分の考えを述べなさい。

問2 人体に無害で、よい香りのする化学物質Aを少量嗅ぐことによって計算の速度が向上することを、実験によって検討したい。どのような点に留意して実験デザインを立てたらよいか、具体的な実験案を説明しなさい。

問3 ある大学の男子学生100名の身長を調べたところ、平均値が170 cmであった。これを標準偏差20 cmの正規母集団からの標本とみなし、下記の問いに答えなさい。必要に応じて、問題用紙2枚目の「付表1 標準正規分布表」を利用すること。

- (a) 身長が175 cmの学生のz値を求めなさい。
- (b) この大学において、身長が160 cmから180 cmである男子学生の割合を求めなさい。
- (c) この大学全体の男子学生の平均身長について、95%信頼区間を求めなさい。

問4 次の用語・人名を簡単に説明しなさい。ただし、下記8つのうち5つを選択して解答すること。（5つを超えて解答した場合、点数の上位から5つ分のみを最終成績の対象とする。）

- ① ブロードマンの脳地図 (Brodmann's brain map)
- ② ストループ効果 (Stroop effect)
- ③ 自発的回復 (spontaneous recovery)
- ④ 知能の多因子説 (multiple-factor theory of intelligence)
- ⑤ 積率相関係数 (product-moment correlation coefficient)
- ⑥ プロトタイプ (prototype)
- ⑦ 模倣学習 (imitation learning)
- ⑧ R. W. スペリー (Roger Wolcott Sperry)

付表1 標準正規分布表

**問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。**

出典 山田剛史・村井潤一郎（2004）. 『よくわかる心理統計』 京都：ミネルヴァ書房. p. 235  
より